

「北海道」っていつどう決まったかご存知ですか？

—北海道の名付け親 松浦武四郎

3月7日、日本橋にある「三重テラス」で、「松浦武四郎セミナー」があることを知り応募しました。2日に分け超満員の大盛況のセミナーでした。

講師は黒田尚嗣氏(クラブツーリズム(株)テーマ旅行顧問)、山本命氏(松阪市「松浦武四郎記念館」主任学芸員。お二人とも広くご活躍されています。

私も今年に入って、36年電気同級生の田澤忠志君から「NHKの特集で松浦武四郎があった」と聞き、早速再放送を見ました。彼と2人で早速セミナーへ行ってきました。

北海道の名付け親 松浦武四郎

三重県松坂生まれの松浦武四郎は、江戸時代の終わりから明治にかけて活躍した探検家で、6度に渡る蝦夷地(北海道)の探査を通じてアイヌの人々とも交流を深め、蝦夷地の詳細な記録を数多く残しました。また、アイヌの人々が蝦夷地で安心して暮らしていけるようにしたいという強い思いを持ち、行動した人でもあります。蝦夷地のことに詳しい第一人者として明治政府の一員となり、1869(明治2)年7月17日、明治政府に対し、蝦夷地に代わる新たな名称として「北海道」のもととなった「北加伊道」を含む6案を提案しました。アイヌ民族に溶け込み北海道、国後、択捉、樺太を探検しています。3度は私費で、3度は明治維新の依頼で蝦夷に渡っています。

アイヌの人々と寝食をともに 計6度に渡って蝦夷地を探査

武四郎が初めて蝦夷地に渡ったのは1845(弘化2)年、28歳のときでした。長崎でロシアが勢力を広げるために蝦夷地を狙っていることを知り、日本の危機を感じた武四郎は、自ら蝦夷地を調べ、その様子を多くの人に伝えようと決意。以降、1858年までの間に計6回探査に訪れました。3回目までは一探検家として蝦夷地を探査し、多くの報告書や地図をまとめました。それを評価した江戸幕府は武四郎を雇い入れ、4回目以降は幕府の命を受け、探査の任務にあたりました。その際、武四郎は蝦夷地で暮らすアイヌの人々の協力を得て、寝食をともにする中でアイヌ文化に触れ、その文化や生活を紹介することにも力を注ぎました。

「蝦夷地」から「北海道」へ その名に込められた思い

時代は江戸から明治へ移り変わり、武四郎は、蝦夷地に詳しい第一人者として明治政府の一員となり、開拓使の役人として、1869(明治2)年7月17日に蝦夷地に代わる名称の提案を明治政府へ行いました。その候補にあがったのが「北加伊道」、「日高見道」、「海北道」、「海島道」、「東北道」、「千島道」の6案でした。

最終的に「北加伊道」の「加伊」が「海」となって、同年8月15日に現在の「北海道」と命名されました。武四郎は幕末に出版した「天塩日誌」の中で、天塩川流域を調査した際に出会ったアイヌの長老アエトモから、「カイという言葉には、この地で生まれたものという意味がある」と教えられたと記しており、「北加伊道」にその意味を込めたとされています。これには、武四郎の、アイヌの人々への思いも込められているのかもしれませんが。また、武四郎はアイヌ語の地名に基づき、郡名・国名(後の支庁、現在の総合振興局と振興局)の選定にもかかわっています。

どうして北海道になったの？

明治政府の官僚でもあった探検家の松浦武四郎が「北加伊道」という名前を提案しました。松浦は1863(文久3)年にまとめた「天塩日誌」で、アイヌ民族の長老から『カイ』は『アイヌ』を指すと聞いたなどと記しており、「北加伊道」に『アイヌ民族が暮らす北の土地』という意味を込めたとされています。ちなみに「道」は律令国家で全国が東海道や南海道など七道に分かれていたことになったものです。提案後すぐに、政府は「加伊」を「海」に改め、北海道としました。

晩年まで続いた 旅への情熱

武四郎は、江戸時代にアイヌの人々を苦しめていた「場所請負制度」(特権的な商人が松前藩や幕府から蝦夷地各場所の経営を請け負った制度)の廃止を強く訴えていましたが、それはなかなか実現しませんでした。開拓使を批判した武四郎は1870(明治3)年、開拓判官の職を辞し、長年の功績により与えられた従五位も返上しました。晩年は、奈良県と三重県の県境にある大台ヶ原に3年連続で登って調査を行ったり、70歳で富士山へ登頂するなど、1888(明治21)年に71歳で亡くなるまで、旅への情熱は衰えることはありませんでした。

今年「北海道」となって150周年の節目の年です。本文は『北海道150年事業実行委員会』の資料、毎日新聞資料を基に作成しました。三重県石神宮の近くで生まれ、於勢さんマイルの旅人を見て育った武四郎。そして遠く離れた蝦夷の血をロシアから守るために旅(探検)した武四郎。興味のある方はネットで調べてみては如何でしょうか。新しい北海道に巡り合えると思います。

(編集・駒米前副会長)